

教育学部の教育理念・目標

本学部における教育理念は、人間形成に関わる専門的学術の研究を通して高度な学識と豊かな人間性および実践的な指導力を備えた専門的教育者を育成することです。

教員には、教育者としての使命感と豊かな人間性、深い教養、教育の理念、教科に関する専門的学力、優れた教育技術および幼児・児童・生徒の理解等、専門職としての高度の資質と能力が求められています。また、高度情報化や国際化の進展など社会が変化する中で、新たな教育の課題が生まれており、教員には、これらの課題に適確に応えていく能力も求められています。

したがって、本学部では、人間教育の基礎とされる幼児教育、初等教育、中等教育および心身に障害のある子どものための特別支援教育に携わる優れた指導力を備え、幼児・児童・生徒の成長と発達についての深い理解の上に優れた専門的学術・技能を身につけた豊かな識見と、新しい教育課題に適切に対応できる能力を持つ教育者の養成を目標としています。

以上の目標を実現するために、本学部では学校教育教員養成課程を置き、そのもとに小学校教育コース、中学校教育コース、幼児教育コースおよび特別支援教育コースを設けています。それぞれのコースでは、コースに対応した学校種の教員免許状（一種）の取得が卒業の必要要件として課されています。それぞれのコースの理念と目標は次の通りです。

小学校教育コース

本コースは、義務教育における児童・生徒の発達段階を見通した系統的な教育実践能力を有し、小学校教育の課題に積極的に対応できる教員の養成を目的としています。小学校教育の課題には、新たな教育内容への対応、長崎県に多く見られる離島・へき地での教育、複式学級などの小規模教育、幼児教育との接続、小中一貫教育への対応、通常学級における特別な支援を要する児童の増加などがあります。これらの教育現場の課題に対応できる多様な人材の育成のために、本コースには3つの系を設けています。また、小学校における充実した教育実践力を身につけるとともに、円滑な幼小接続の実践、専門的教科教育力に基づいた小中一貫教育、または特別な支援を要する児童への指導に優れた教員となるために、小学校教諭免許状（一種）の取得とともに、幼稚園教諭免許状（二種）、中学校教諭免許状（二種）、特別支援学校教諭免許状（二種）のいずれかの免許状の取得が卒業に必要です。

ア. 子ども理解系

子どもの発達と学習を相互に影響しながら進展していく過程をとらえ、教育実践の新しい可能性を追求します。この系では、教育学と心理学にもとづいた二つの能力を形成します。一つは、学校における教育実践と省察のサイクルの中で、学級経営の諸問題を分析

して子どもに対する指導を改善するとともに、国際的な比較の視点から学校教育の可能性を考えていく能力です。もう一つは、教育心理学や発達心理学の知見を踏まえ、学級での個人と集団の関係を理論的・実証的に理解するとともに、認知－行動モデル、療育的介入法、カウンセリング技法を理解し実践できる能力です。これらの能力の形成を通して、多様な感じ方・考え方や特性を持つ一人ひとりの子どもたちをよく理解し、子どもたちの良さを伸ばすことのできる教員を目指して、教育学、心理学等の講義のほかに、教育課題の探究とその解決法を学びます。

イ. 教科授業開発系

子どもたちは一つ一つの授業に参加して「できる」「わかる」といった成就感を得ることを通し、それらを積み上げることによって学力を形成していきます。そのため本系では、小学校における各教科（特に国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語、道徳の11教科）の授業づくりに必要な教科指導力及び授業開発力のある教員を育成することを目的とします。このことによって全教科を貫く授業実践の理念を獲得することはもとより、小学校教科のいずれかを研究教科として深めていくことを求めています。

ウ. 離島・地域文化系

離島・へき地が点在し、歴史的に多様な文化を育んできた本県の特徴を踏まえ、多彩な文化（言葉、音楽、美術、地域社会の特性）を理解し、小規模校や少人数学級等の実情にも即応できる適応力を備え、ICTを積極的に活用してその地域性や文化を表現し発信できるグローバルな視野を持った柔軟な教育実践能力を有する教員を育成すること目的とします。

このため、教育学、心理学、教科の指導法のほかに、離島、へき地等を含めた地域社会と教育の結びつきや少人数教育等を学びます。また、中学校教育における確かな教科教育力を有し、小中一貫校や義務教育学校等での教育にも力を発揮できる教員の養成を行います。

中学校教育コース

本コースは、主として中等教育に関する高度な専門的力量と教育実践力を有し、問題意識をもって教育活動に取り組むことができ、また中学校教育を中心に小中および中高連携が図れる中学校教員の育成を目指しています。そのため、卒業要件として、中学校教諭免許状（一種）の取得とともに、高等学校教諭免許状（一種）、または小学校教諭免許状（二種）の取得が必要です。

ア. 国語専攻：本専攻では国語学、国文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語教育の五つの分野にわたって専門性の高い学習をするとともに、各ゼミナールに分かれてそれぞれの分野の専門的な研究テーマに取り組み、探究心を養う。これらの学習・研究を通し

て国語教師に必要な国語分野の専門的 能力と教育実践能力を融合し、高次の発展を図る。

イ. 社会専攻：小・中学校の社会科及び高等学校の地理歴史科、公民科の指導には、「社会と人間」についての幅広い観点からの深い理解と、児童生徒の社会認識形成過程に即した学習を組織する能力が求められる。本専攻では、歴史学、地理学、法律学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、社会科教育の9分野の専門科目、ゼミナールを設け、総合的な社会認識を形成すると共に、各分野の専門的研究能力と教育実践能力を融合的に育成することを目標とする。

ウ. 数学専攻：今日の数学教育では、幅広い視点から「数学－社会－人間」について総合的な理解と認識を深めることが求められている。この観点から本専攻では、代数学、幾何学、解析学、確率論、統計学、コンピュータという数学の各専門分野における講義・演習を通して、数学全般に関する専門的知識、能力を身につけ、数学的センスを磨くとともに、数学教育学における講義・演習を通して、数学教育に関する見識や実践的な能力を高めることを目標とする。

エ. 理科専攻：物理学、化学、生物学、地学及び理科教育という5つの分野に分かれている。各分野の講義・演習や実験・実習を通して、体系的な知識や基本的な研究方法を修得するとともに自然科学教育の基礎を学習する。すなわち、自然の理（ことわり）についての認識を深め、そして探究心を育みながら、理科の教員としてふさわしい総合的な自然科学的教養と実践的な能力を高めていくことを目標とする。

オ. 保健体育専攻：本専攻では、保健体育及びスポーツに関する専門的知識を修得する。体育学、運動学、学校保健、体育実技及び保健体育科教育等に関する広範な知識と高い専門性を備えた指導者を育成することを目標とする。

カ. 英語専攻：英語の実践的な運用能力に加え、言葉と異文化への関心を高めるような言語教育を実践できる英語科教員の養成を目指す。このため、多読、作文、会話の系統的な指導に力を注ぐとともに、英米の文学作品や言葉の特質を固有の文化・歴史との関連の中で分析、鑑賞する講義・演習を行うと同時に、英米の新しい教授理論を実践・検討し、よりよい英語教育のあり方を追求している。

幼児教育コース

本コースは、幼年期（乳児期・幼児期・児童前期）における子どもの発達段階を踏まえ、子どもの感性、生活、遊びなどに関する幼児教育の理論と実践、及び家庭教育・地域との連携等について、資質能力を確実に身につけている教員の育成を目指します。その際、専門性を備えた教員の養成を意図しています。そのため、幼稚園教諭免許状（一種）の取得とともに、保育士または小学校教諭免許状（二種）の資格取得が卒業に必要です。

特別支援教育コース

本コースは、主として特別支援学校の教員及び小・中学校において特別支援学級を担当する教員の養成を目的としています。障害のある児童・生徒を科学的、共感的に理解し、その教育の原理と方法を理論的に研究しながら、実践力を深めていける教員の育成をめざします。具体的には特別支援教育の基礎理論、心理学及び生理・病理学、教育課程、指導法等について専門的に学習します。特別支援学校教諭免許状の取得のためには、小学校教諭免許状か中学校教諭免許状のいずれかが基礎免許状として必要です。したがって、入学後に小学校教諭か中学校教諭のいずれかを基礎免許状として選択することになります。また、中学校教諭を基礎免許状とする場合は、教科名まで決定することが必要となります。

本学部は、これらの教育理念と目標のもと、すべての学生を「学び続ける教員」として養成すべく、教員採用試験受験及び合格を目指し、教育界へと導きます。

教育学部のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得し、

- ・ 幼児・児童・生徒の発達段階に応じて適切な指導ができる。
- ・ 教職や教科に関する専門的知識・技能を身につけている。
- ・ 社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。
- ・ 自ら学び、考え、教育の現代的課題に対応することができる。
- ・ 各コース・専攻に特徴的な専門的知識・技能を身につけている。

と認められた者に対し、学士（教育学）を授与します。

教育学部のカリキュラム・ポリシー

・ 長崎大学のカリキュラム・ポリシーに沿って、教育学部生が体系的かつ主体的に学修できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

・ 入門科目で、幼児・児童・生徒の成長と発達について理解し、発達段階に応じた適切な指導を学びます。

・ 基礎科目で、各専攻の教職や教科に関する専門的知識・技能を身につけます。

・ 発展科目で、それぞれの専門性をさらに深めつつ、教育実地研究・実習を行い、自らの資質と教育実践力の向上を図ります。

・ 探究科目で、現代の教育課題に対応できる深い専門の能力を身につけます。

これらに加え以下の通り、各コース・専攻それぞれに特徴的な専門的知識や技能を身につけます。

小学校教育コースでは、児童生徒理解、小学校教科教育、グローバル化および情報化に関する専門的知識や技能を身につけます。

中学校教育コース

国語専攻では、国語学、国文学、漢文学、国語科教育、書写書道に関係する国語科の専門的知識・技能を習得し、母語としての国語の運用能力に優れ、思考・伝達の手段としての国語の重要性をよく認識した国語科の教員にふさわしい資質・能力を身につけます。

社会専攻では、歴史学、地理学、法律学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、社会科教育学に関係する専門的知識や技能を習得し、社会系教科の教員に必要な資質・能力を身につけます。

数学専攻では、中学校・高等学校の数学教師にふさわしい人間性と、代数、幾何、解析、確率統計、コンピュータおよび数学教育の6領域に関する専門的知識や技能を身につけます。

理科専攻では、物理学、化学、生物学、地学、および理科教育の学修と研究を通して、理科の教員に必要な専門的知識や技能を身につけます。

保健体育専攻では、保健体育教科に関する専門教育科目および教科教育法で、前記のカリキュラム・ポリシーの上から4つの項目を横断的・総合的に捉え、体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識、質の高い実践能力と豊かな専門性を身につけます。

英語専攻では、英語の実践的な運用力を高めるとともに、言葉と異文化への関心を深めるような言語教育を実践できる知識や技能を身につけます。

幼児教育コースでは、幼児教育の専門科目を深く学び、質の高い保育・教育を実践できる専門性を身につけます。

特別支援教育コースでは、特別支援学校（知的障害・肢体不自由・病弱）、特別支援学級および通常学級における障害のある児童・生徒の教育・支援を、障害児の教育学、生理・病理学、心理学の各領域から学び、実践力を高めるための専門的知識や技能を身につけます。

具体的な科目名と育成を目指している主たる能力・資質との対応については各コース・専攻の下記の別表を参照してください。なお、授業の成績評価は、定期試験の結果やレポートや課題、ディスカッション、プレゼンテーションの成果、授業やゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。評価の結果、学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

小学校教育コース 子ども理解系、教科授業開発系、離島・地域文化系					
科目等 資質等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育 国際理解教育論	発達心理学		
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教職とICT活用Ⅰ 初等教科教育法(国語科・社会科・算数科・理科・生活科・音楽科・図画工作科・家庭科・体育科・外国語) 教育哲学 教育史 教育行政・制度論 教育経営論 心理学統計法 子ども臨床 複式教育論 教職とICT活用Ⅱ 環境教育 地域文化と教育 国際理解教育演習 協働企画運営演習Ⅰ 小学校におけるものづくり演習	教育社会学 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 生徒指導 教育相談 小学校教科に関する専門教育科目(社会科・音楽科・図画工作科・外国語・国語科・書写・算数科・理科・生活科・家庭科・体育科) 人権教育 協働企画運営演習Ⅱ	
	教育実践力		参加観察実習 蓄積型体験学習 事前指導 初等授業観察研究	教育実習 事後指導 教職実践演習 初等学習材集中研究	
	対応能力・専門能力	小学校教育入門ゼミナール			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

※黄色マーカーの箇所は子ども理解系の特色ある科目

※ピンク色マーカーの箇所は教科授業開発系の特色ある科目

※黄緑色マーカーの箇所は離島・地域文化系の特色ある科目

中学校教育コース 国語専攻					
科目等 資質等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育	発達心理学		
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教職とICT活用Ⅰ 中等国語科教育Ⅰ 中等国語科教育Ⅲ(書写) 国語学概論(音声言語を含む。) 国語表現(文章表現を含む。) 国文学概論(国文学史を含む。) 近代文学概論 漢文学概論 書字論	教育社会学 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 生徒指導 教育相談 人権教育 中等国語科教育Ⅱ 中等国語科教育研究 国語学講読 国文法 近代文学講読Ⅰ 古典文学講読Ⅰ 古典文学講読Ⅱ 漢文学講読	国語学演習 近代文学講読Ⅱ 古典文学演習 漢文学演習
	教育実践力		参加観察実習 蓄積型体験学習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

中学校教育コース 社会専攻					
科目等 資質等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育	発達心理学		
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教職と ICT 活用 I 日本史 I 外国史 I 人文地理学 地誌学 I 法律学 I 社会学 哲学 倫理学 中等社会科教育 I 日本史 II 外国史 II 地誌学 II	教育社会学 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 生徒指導 教育相談 人権教育 自然地理学 政治学 I 経済学 I 中等社会科教育 II 社会科指導法(地理・歴史分野) 社会科指導法(公民分野) 歴史学研究 地理学研究 法律学 II 政治学 II 経済学 II 経済学研究 哲学・倫理学研究	
	教育実践力		参加観察実習 蓄積型体験学習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール			ゼミナール I・II 卒業論文

中学校教育コース 数学専攻					
科目等 資質等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育	発達心理学		
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教職とICT活用Ⅰ 線形代数学Ⅰ 座標幾何学Ⅰ 微分積分学Ⅰ コンピュータとアルゴリズム 中等数学科教育Ⅰ 数学教材研究 a 数学教材研究 b 線形代数学Ⅱ 代数学Ⅰ 座標幾何学Ⅱ 幾何学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 解析学Ⅰ	教育社会学 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 生徒指導 教育相談 人権教育 確率・統計 中等数学科教育Ⅱ 代数学Ⅱ 代数学Ⅲ 幾何学Ⅱ 幾何学Ⅲ 解析学Ⅱ 解析学Ⅲ	
	教育実践力		参加観察実習 蓄積型体験学習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

中学校教育コース 理科専攻					
科目等 資質等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育	発達心理学		
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教職とICT活用Ⅰ 物理学概論 化学概論 生物学概論 地学概論 物理学・化学基礎実験 生物学・地学基礎実験 中等理科教育Ⅰ 中等理科教育Ⅱ 電磁気学 力学とエネルギー 有機化学 無機化学 動物学 植物学 天文学 地質学	教育社会学 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 生徒指導 教育相談 人権教育 中等理科教育 a 中等理科教育 b 物理学実験 化学実験 生物学実験 地学実験 野外生物実習 野外地質実習	
	教育実践力		参加観察実習 蓄積型体験学習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

中学校教育コース 保健体育専攻					
科目等 資質等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育	発達心理学		
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教職とICT活用Ⅰ 陸上競技 体づくり運動 器械運動 柔道 剣道 水泳 体育原理 運動学(運動方法学を含む。) 学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。) 衛生学及び公衆衛生学 生理学(運動生理学を含む。) 中等保健体育科教育Ⅰ 中等保健体育科教育Ⅱ バレーボール バスケットボール 野外運動	教育社会学 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 生徒指導 教育相談 人権教育 舞踊 体育心理学 中等保健体育科教育Ⅲ 中等保健体育科教育Ⅳ サッカー ラグビー 体育社会学 体育史	
	教育実践力		参加観察実習 蓄積型体験学習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

中学校教育コース 英語専攻					
科目等 資質等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育	発達心理学		
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教職と ICT 活用 I 英語音声学 I 英語演習 I 英文法演習 I 英語文学史 英語指導のための英語 I 英語指導のための英語 II 英作文 I 英語科教育入門 I 英語科教育入門 II 英語音声学 II 英語演習 II 英文法演習 II 英作文 II	教育社会学 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 生徒指導 教育相談 人権教育 英語史概論 英語指導のための英語 III 英語指導のための英語 IV 異文化理解研究 I 中等英語科教育 I 中等英語科教育 II 英語学 I 英語学 II 英語文学演習 I 英語文学演習 II 異文化理解研究 II	
	教育実践力		参加観察実習 蓄積型体験学習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール			ゼミナール I・II 卒業論文

幼児教育コース					
科目等 資質等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育	発達心理学		
	教職や教科に関する専門的知識・技能		保育内容総論 こどもと環境 こどもと言葉 こどもと表現 教育原理論 乳幼児の健康（内容） 乳幼児の人間関係（内容） 乳幼児の環境（内容） 乳幼児の言葉（内容） 乳幼児の表現（内容） 小学校教科に関する専門教育科目（国語科・算数科・生活科・体育科） 教育史 教育哲学	こどもと健康 こどもと人間関係 教育社会学 教育課程論 幼児保育計画論 保育実践方法論 幼児理解と教育相談 人権教育 プロジェクト総合演習Ⅰ プロジェクト総合演習Ⅱ 保育の記録・分析Ⅰ 保育の記録・分析Ⅱ 教育方法・技術論 小学校教科に関する専門教育科目（音楽科・図画工作科）	
	教育実践力		参加観察実習 蓄積型体験学習 事前指導	教育実習 事後指導 保育・教職実践演習	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

特別支援教育コース					
科目等 資質等		入門科目	基礎科目	発展科目	探究科目
主として養われる資質	幼児・児童・生徒の成長と発達についての理解	教職の理解 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解と支援 子ども教育論 地域社会と教育	発達心理学		
	教職や教科に関する専門的知識・技能		教育原理論 教職とICT活用Ⅰ 特別支援教育概論 障害児の心理Ⅰ 障害児の生理・病理Ⅰ 知的障害児教育課程論 視覚障害児教育総論 聴覚障害児教育総論 重複障害児教育総論 障害児教育史 障害児の心理Ⅱ 障害児の生理・病理Ⅱ ★各教科(基礎免)(小中)	教育社会学 教育課程論 道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法・技術論 生徒指導 教育相談 人権教育 肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理 肢体不自由児教育課程論 病弱児教育課程論 知的障害児指導法 肢体不自由児指導法 病弱児指導法 発達障害児教育総論Ⅰ 発達障害児教育総論Ⅱ	
	教育実践力		参加観察実習 蓄積型体験学習 教育実習・事前指導	教育実習 教育実習・事後指導 教職実践演習 特別支援教育演習1・2・3・4	
	対応能力・専門能力	専門ゼミナール			ゼミナールⅠ・Ⅱ 卒業論文

【教育学部のアドミッション・ポリシー】

教育学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- ・ 専門的な学修に必要な基礎的な論理的・批判的思考力や判断力、表現力がある。
- ・ 幼児・児童・生徒および保護者、同僚その他の人々との良好な対人関係を構築するために必要な非言語的要素を含むコミュニケーション能力がある。
- ・ 主体的に学修を継続し、発展させようとする意欲と態度がある。
- ・ 現代の教育課題への関心を持ち、教職を志望している。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

【小学校教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
総合型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		自己推薦書				○
		諸活動の記録				○
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎			
		小論文		◎		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
		日本留学試験	○			
外国人留学生選抜		面接		○	◎	◎

【中学校教育コース 文系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接		◎	○	◎
		日本留学試験	○			
外国人留学生選抜		個別学力検査	◎	◎		
		面接			◎	◎

【中学校教育コース 理系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接	○	○	○	○
		日本留学試験	○			
外国人留学生選抜		個別学力検査	○	○		
		面接			○	○

【中学校教育コース 実技系】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	◎	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	○			
		個別学力検査	◎	◎		
		面接			◎	◎

【幼児教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度 (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接		◎	◎	◎
		日本留学試験	◎			
外国人留学生選抜		面接		○	◎	◎

【特別支援教育コース】

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	思考力・判断 力・表現力 (思考力等)	対人関係を構築するた めに必要なコミュニケ ーション能力 (主体性等)	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態 (主体性等)
一般 選 抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		小論文		◎		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接		○	◎	◎
		日本留学試験	○			
外国人留学生選抜		面接		○	◎	◎